

平成28年度鳥取県営病院事業

決算概要説明資料

病 院 局

平成28年度鳥取県営病院事業決算概要

病 院 局

1 概 要

- 病院事業全体の純損益は、7年連続で黒字となった。
- 経営状況を判断する経常損益は、中央病院は15年連続、厚生病院は7年連続で黒字となった。
- なお、厚生病院は、平成26年度の会計基準見直しによる「退職給付引当金(※)」を特別損失に計上したこと等により、純損失を計上した。
- 累積欠損金は、病院事業全体で63億円から59億円に減少した(減価償却費等の累計が249億円あり資金不足は生じていない)。

2 収益的収入及び支出

(単位：百万円 (税抜))

区 分	平成27年度 (A)	平成28年度 (B)	差 引 (B)-(A)	主 な 増 減 理 由 等
病院事業収益	21,263	21,405	142	
中央病院	13,951	14,113	162	
厚生病院	7,312	7,292	△ 20	
医業収益	18,479	18,574	95	○入院及び外来収益の増
医業外収益	2,655	2,728	73	
特別利益	129	103	△ 26	
病院事業費用	20,381	20,982	601	
中央病院	13,017	13,363	346	
厚生病院	7,364	7,619	255	
医業費用	18,805	19,331	526	○給与費の増(329百万円) ○経費の増(186百万円)
医業外費用	874	917	43	
特別損失	702	734	32	○退職給付引当金674百万円(中央：353百万円、厚生：321百万円)
経常損益	1,455	1,054	△ 401	(医業収益+医業外収益) - (医業費用+医業外費用)
中央病院	1,180	1,036	△ 144	
厚生病院	275	18	△ 257	
純損益 (収入-支出)	882	423	△ 459	経常損益+特別利益-特別損失
中央病院	934	750	△ 184	
厚生病院	△ 52	△ 327	△ 275	
累積欠損金 (当年度未処理欠損金)	△ 6,346	△ 5,922	424	
中央病院	△ 2,021	△ 1,270	751	
厚生病院	△ 4,325	△ 4,652	△ 327	
議決による 資本剰余金処分額	1	0	△ 1	
中央病院	1	0	△ 1	
厚生病院	0	0	0	
資本剰余金処分後 累積欠損金	△ 6,345	△ 5,922	423	
中央病院	△ 2,020	△ 1,270	750	
厚生病院	△ 4,325	△ 4,652	△ 327	

※退職給付引当金：年度末に全職員が自己都合により退職すると仮定した場合に必要な退職金を総務省の取扱例に従い特別損失として5年分割(H26~30)で計上するもの

3 資本的収入及び支出

(単位：百万円 (税込))

区 分	平成27年度 (A)	平成28年度 (B)	差 引 (B)-(A)	備 考
資 本 的 収 入	1,700	3,461	1,761	
企 業 債	871	2,203	1,332	建設改良費に充当
負 担 金	785	737	△ 48	企業債償還金に充当
補 助 金	36	494	458	
固 定 資 産 売 却 代 金	8	27	19	
資 本 的 支 出	2,610	4,481	1,871	
建 設 改 良 費	1,263	3,074	1,811	
企 業 債 償 還 金	1,347	1,407	60	
収 入 - 支 出	△ 910	△ 1,020	△ 110	
中 央 病 院	△ 565	△ 666	△ 101	
厚 生 病 院	△ 345	△ 354	△ 9	

■主な整備事業

【中央病院】

○建替整備事業

- 基本・実施設計業務委託 平成26年10月～平成28年5月 (精算払244百万円)
- 埋蔵文化財発掘調査関連工事 平成27年1月～平成28年9月 (精算払177百万円)
- 新病院建設工事 (建築) 平成28年8月～平成30年9月 (前金払ほか1,316百万円)
- 新病院建設工事 (電気設備) 平成28年9月～平成30年9月 (前金払22百万円)
- 新病院建設工事 (空調設備) 平成28年9月～平成30年9月 (前金払9百万円)
- 新病院建設工事 (衛生設備) 平成28年9月～平成30年9月 (前金払ほか32百万円)
- 新病院建設工事監理等業務委託 平成28年8月～平成31年3月 (精算払45百万円)

※金額は、平成28年度予算による支払額

○医療機器整備事業454百万円

(電子カルテシステム等210百万円、産婦人科用等超音波画像診断装置56百万円ほか)

【厚生病院】

○MR I 操作室他改修工事11百万円

(電気設備：平成28年8～11月、機械設備：平成28年8～11月)

○外来棟電気室無停電電源装置蓄電池更新工事14百万円

○給食設備大規模改修工事73百万円

○医療機器整備事業317百万円

(超伝導磁気共鳴画像診断装置 (MR I) 108百万円、手術用顕微鏡33百万円ほか)